



記者発表資料



令和7年10月17日
教育委員会事務局
生涯学習部文化財課
埋蔵文化財調査センター
電話 266-5433

「犠橋貝塚発掘100年祭」を開催します！ ～縄文鍋試食会やワークショップ等を通じて犠橋貝塚の歴史や縄文人の知恵を学ぶ～

千葉市では、花見川区さつきが丘団地の中央にある犠橋貝塚で初めて発掘調査が行われた大正14年10月25日から、ちょうど100年の日にあたる令和7年10月25日（土）に、犠橋貝塚の歴史や縄文人の知恵を学べる「犠橋貝塚発掘100年祭」を開催しますので、お知らせします。

なお、犠橋貝塚でのイベント開催は、今回が初めての取り組みとなります。

1 日時

令和7年10月25日（土）10：00～15：30

2 会場

①千葉市犠橋貝塚公園（花見川区さつきが丘1-18）

※雨天の場合は、市立さつきが丘東小学校体育館（花見川区さつきが丘1-7）
で実施

②千葉市さつきが丘公民館（花見川区さつきが丘1-32-4）

3 プログラム

プログラム	内容	時間	会場
縄文グルメ体験 「縄文鍋の試食会」	貝塚から大量に出土する巻貝「イボキサゴ」の出汁、縄文時代と同じ食材を使った縄文鍋を試食できます。	12:00 から 配布開始 (先着100人)	
縄文人体験いろいろ	縄文時代の道具「石皿」を使ったどんぐりつぶし、石器の切れ味体験、縄文人が狩猟していたシカやイノシシなどの動物の角や毛皮に触る体験のほか、縄文土器づくりの実演などが見学できます。	10:00～15:30	犠橋貝塚公園
地域マルシェの開催	地域の方々による、珈琲やクッキー、新鮮野菜の販売を行います。	10:00～15:30	

「下総犠橋貝塚遠足会の記」朗読会	100年前の発掘調査の様子がわかる遠足会の記録を朗読します。	①10:00 ②13:30	
縄文ワークショップ	本物の縄文土器の破片の文様を写すしおりづくりや、毛糸を使った組みひもづくり、「イボキサゴ」を使ったおはじき遊びが体験できます。	10:00～15:30	さつきが丘公民館
展示コーナー	犠橋貝塚から出土した土器や土版のほか、地域の子供たちが描いた犠橋貝塚公園の絵や調べ学習の成果を展示します。	9:00～17:00	



縄文鍋



石皿でどんぐりつぶし



犠橋貝塚出土土版

4 その他

- (1) 参加は無料です。 ※物販を除く
- (2) 事前申し込みは不要です。
- (3) 各プログラムの受付や実施について、早めに終了する場合があります。
- (4) 本イベントと特別史跡加曽利貝塚「縄文秋まつり」の二つの会場をつなぐシャトルバスを運行します。
- (5) 市ホームページ

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/bunkazai/maizoubunkazai/event/r7kotehashikaisuka100nennsai.html>



<参考>

1 獣橋貝塚について

獣橋貝塚は、縄文時代後期（おおむね 4,200 年前～2,700 年前）につくられた大型の環状貝塚で、東京湾東岸の大型貝塚群の中でも、貝層の規模が大きく保存状態が良好で重要な遺跡であることから、昭和 56（1981）年に国の史跡に指定されました。

今からちょうど 100 年前の大正 14（1925）年 10 月 25 日に初めての発掘調査が行われたのを皮切りに、小規模な発掘調査が複数回行われ、住居跡や埋葬坑、土器・石器や土製品などが多数発見されています。最新の研究では、オオガハスの種子と一緒に縄文時代の丸木舟 4 艘、櫂 6 本が出土した落合遺跡（東京大学総合運動場）は、獣橋貝塚の人々による「船着き場」であると考えられています。

2 100 年前の発掘調査について

さまざまな分野で科学的な研究が始まった大正末期、日本人のルーツを探る研究を始めた人たちが集う「東京人類学会遠足会」が開催されました。その舞台として獣橋貝塚に考古学・人類学の著名人 100 名近くが全国から集まり、大正 14（1925）年 10 月 25 日に、一堂に会した発掘が行われました。その様子が「下総獣橋貝塚遠足会の記」という文章に残されています。

「獣橋貝塚発掘 100 年祭」当日は、100 年前の発掘調査の様子を「下総獣橋貝塚遠足会の記」の朗読会にてご紹介します。



「東京人類学会遠足会」の記念写真(大正 14(1925)年)